

令和2年度 自己点検・自己評価

東京HOPE日本語国際学院

5:達成している 4:ほぼ達成している 3:どちらともいえない 2:取り組みを検討中 1:改善が必要

1. 教育理念・目標等		評価
1	1-1 理念・目的・目標とする人材像は定められているか	5
2	1-2 理念に基づく教育が行われているか	4
3	1-3 学校の特色が明確になっているか	4
4	1-4 学校の将来像を抱いているか	3

【現状・具体的な取り組み／課題】

日本語教育を通じ異文化交流を図り、国際的な場で能力を発揮することのできる人材育成に寄与するという理念を具現化するために、学び得た知識を相補的に活用して未知の事柄・状況を解決できる「課題達成能力」の育成に努めてきたが、アフターコロナを見据えた学校の特色作りが今後の課題である。

2. 学校運営		評価
5	2-1 運営方針は定められているか	3
6	2-2 事業計画は定められているか	3
7	2-3 運営組織や意志決定システムが確立され、効率的なものになっているか	4
8	2-4 人事・賃金・福利厚生といった処遇・職場環境の改善に関する制度は整備されているか	5
9	2-5 情報システム化等による業務の効率化が図れているか	4
10	2-6 学校運営を客観的に評価し、維持向上させる機能が整備されているか	4
11	2-7 危機管理体制は整備されているか	4
12	2-8 施設整備は教育上の必要性及び学生の安全確保に十分対応できるように整備されているか	5

【現状・具体的な取り組み／課題】

コロナ禍により当初の運営方針、事業計画の見直しを迫られた1年であった。中長期的な課題であるため今後大幅に取り組みを変えざるを得ないことが見込まれる。処遇・職場環境については人事規定に則り適切に対処されている。情報管理について大手システム会社によるサーバー導入によりセキュリティの徹底が図られている。教職員に対するマスク配布等、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策に取り組んでいる。

3. 教職員		評価
13	3-1 教育理念・目標が教職員間で共有されているか	3
14	3-2 教育の質を向上させるための取り組みが確立されているか	3
15	3-3 教員の指導力向上のための取り組みがされているか	3
16	3-4 教職員評価を適切に行っているか	4

【現状・具体的な取り組み／課題】

今年度はコロナ禍によりテレワーク、時差出勤、出勤調整等により教職員の意思疎通に困難が生じた点は否めないが、ITツール等の活用により可能な限りの対応に努めてきた。今後の業務体制のあり方について中長期的に対応していく。

4. 教育活動・教育成果		評価
17	4-1 カリキュラムは体系的に編成されているか	4
18	4-2 成績評価・進級及び修了の判定基準は明確になっているか	5
19	4-3 成績評価は適切に行われているか	5
20	4-4 カリキュラム等の改善のための取り組みがされているか	3
21	4-5 目標達成に向けた指導を行える要件・資質を備えた教員を確保しているか	4
22	4-6 学生に対する適切な進路を行っているか	3

【現状・具体的な取り組み／課題】

コロナ禍による臨時休校、オンライン授業、また学生の登校忌避等により当初のカリキュラムから大幅に変更せざるを得ず、それも応急的な対応となってしまった。そのため十分な教育成果を得られず卒業時期を延期した学生も生じた。次年度以降はこの点を踏まえ柔軟に対応できるような体制構築を図っていく。

5. 学生支援		評価
23	5-1 進学・就職指導に関する体制は整備されているか	3
24	5-2 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	4
25	5-3 学生相談に関する体制は整備されているか	4
26	5-4 学生の心身の健康管理・事故・けが等に対するサポート体制は整備されているか	3
27	5-5 防災や緊急時における危機管理体制が整備されているか	3
28	5-6 保護者と適切に連携しているか	4

【現状・具体的な取り組み／課題】

今年度は幸い新型コロナウイルス感染症の感染者は発生しなかったものの、学生の心理面の不安への対処には課題が残った。平常より保護者・仲介機関との連絡を密にしてきたが、相手方も未知の状況であったため学生へのサポート体制は十分であったとは言えない。感染症対策を含め危機管理体制の整備の見直しが急務である。

6. 教育環境			評価
29	6-1	学校の施設・設備が十分かつ安全に整備されているか	5
30	6-2	適切で十分な教材が整備されているか	5
31	6-3	学習効率を高めるための工夫がされているか	4
32	6-4	周辺地域と連携し、地域ぐるみで教育する体制が整備されているか	3

【現状・具体的な取り組み／課題】

学校施設・設備について定期あるいは随時に保守点検・修繕が行われており安全が確保されている。また生活指導として授業終了後学生による整頓清掃に加えアルコール消毒作業を実施し、感染症予防に努めている。今年度後半より電子黒板を導入し学習環境の向上を図っている。周辺地域からの留学生、日本語学校への理解を一層得られるよう図っていく。

7. 在籍管理と生活指導			評価
33	7-1	入国・在留関係の管理・指導と支援が適切に行われているか	5
34	7-2	日本社会を理解するための支援が適切に行われているか	5
35	7-3	日本の法令を遵守させる指導を行っているか	5
36	7-4	常に最新の学生情報を把握しているか	5

【現状・具体的な取り組み／課題】

入学時オリエンテーション・3か月ごとの定期面談を通じ、法令遵守・学則・生活習慣・留学生としての心構え等についての指導を行っている。所轄警察署による犯罪防止講習を定期的実施している。全教職員による情報共有のために学生個々の指導記録を作成している。

8. 学生の募集と受入			評価
37	8-1	学生の受入方針は定められているか	4
38	8-2	学生募集活動は、適切に行われているか	5
39	8-3	募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
40	8-4	パンフレット、ホームページ等により、正確な学校情報が伝えられているか	4
41	8-5	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づいて行われているか	5
42	8-6	適正な定員設定および在籍者数になっているか	3
43	8-7	授業料他の費用は適切か	5

【現状・具体的な取り組み／課題】

事業計画に基づき各学期ごとに学習目的・日本語能力・経費支弁能力等を基準とした選考・学生募集が行われてきたが、コロナ禍による募集数、入学者数の大幅な減少に直面した。定員・在籍者数については関係法令に従って適切に設定されている。教育成果及び学校に関する最新情報についてはより一層広報・情報提供に努める必要がある。

9. 財務			評価
44	9-1	中長期的に学校の財務基盤は安定していると言えるか	4
45	9-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
46	9-3	財務についての会計監査が適切に行われているか	5
47	9-4	財務情報公開の体制は整備されているか	3

【現状・具体的な取り組み／課題】

設置者HOPE有限会社の財務基盤は中長期的に安定して推移してきたが、コロナ禍による入学者数減を踏まえ予算・収支計画について見直しを図っていく。会計処理は適切に行われており、顧問税理士による監査も行われている。財務情報公開については引き続き検討していく。

10. 法令遵守			評価
48	10-1	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	5
49	10-2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	5
50	10-3	関係省庁への定期報告等を遅延なく行っているか	5
51	10-4	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3
52	10-5	自己点検・自己評価を公開しているか	4

【現状・具体的な取り組み／課題】

関係法令を遵守し設置基準を満たした運営がなされており、関係各機関への報告等も適正に行っている。個人情報の取り扱いについては「個人情報保護規定」を設け、情報へのアクセス権を設定し適切な管理に努めている。自己点検・評価については評価項目・内容について改善に努めていく。

11. 地域貢献・社会貢献			評価
53	11-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	2
54	11-2	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	2

【現状・具体的な取り組み／課題】

外部からの学校行事参加を呼びかけ、地域社会から理解を得られるよう努めているが、積極的な情報発信・広報を図る必要がある。今後の学校施設活用や社会貢献については課題が多く、さらなる努力を要する。